

---

# 逆トリップ症候群～降ってきた王子様達～【更新停滞】

ゆうき

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

逆トリップ症候群／降つてきた王子様達／【更新停滞】

### 【Zコード】

Z8195P

### 【作者名】

ゆづや

### 【あらすじ】

私、 笹本なゆは、 まあ傍から見れば複雑な家庭環境ながらも「ぐじく平凡に過ごしてきた。 大学に入り、 親の残した一戸建てに住む事早一年。 奴らは突然、 降つてきた。 これは、 私、 笹本なゆと、 我儘王子様達の悪戦苦闘のなんだか平凡なのにファンタジーな小さな物語である。

「ササモト、紅茶を頂きたいのだが。」

「はいはい、分かりましたよ、今すぐ淹れりゃいいんでしょ。私が今掃除して忙しいの分かつてんのに言つてんのかコト。」

「ササモト、紙が切れた。早く持つてくれ。」

「あんたねえ、すぐそこにあるでしょうが！  
自分の足で歩くつてことぐらいしるよー私に頼むな！」

「ササモト、夕食はまだか！早く買い出しに行つて来い！」

「あーあーつるさーいわー！言われなくとも分かってるわー！  
腹減つたならそこいらへんのお菓子でもつまみ食いしてらうよ……つて  
もつじてるしー！」

此処は私の家。お父さんとお母さんが遺してくれた大切な家。  
私が一番偉い、はず。なのに、この居候ども、なんでこんなに偉そ  
うなのか。

答えは簡単、こいつら王子様だから！

逆トリップ症候群～降ってきた王子様達～





## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8195p/>

逆トリップ症候群～降ってきた王子様達～【更新停滞】

2011年4月28日05時04分発行